



「読書の秋」読書週間が始まっています・・



11月3日(日)の文化の日を中心とした前後2週間、10月27日(土)から11月9日(金)までは、読書週間です。この読書週間は、1947年、まだ戦火の傷痕が残っている中で、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という思いから始まったそうです。また、「秋の夜長」と言われるように、秋になると残暑も終わり、気候的にも過ごしやすくなることから、夜の時間に明かりをとめてゆっくりと読書をするのに適した季節ということから「読書の秋」と言われるようになったそうです。ちなみに、英語では「Autumn is the best season for reading」(秋は読書するのに最適な季節だ)という感じですね。

さて、読書は、「心の栄養」とも言われるように、子どもたちの心の成長にとって重要な活動です。宇智小学校でも、読書貯金・えほんのひろば・新本の紹介・うちどく・読み聞かせなど、機会を捉えて、読書活動活性化の取組を行っています。



「うちどく」とは、文字通り「**おうちでどく**しょ」の略です。最近の子どもはゲームばかりで本を読まない、と言われてますが、本当にそうでしょうか。6年生を対象に毎年行われている「全国学力・学習状況調査」の結果を見ると、「普段、1日あたりどれくらいの時間読書を読みますか」という質問に対し、「毎日30分以上読書をしている」と答えた子どもの割合は、全国平均が**41.1%**に比べ、宇智小の子どもたちの平均は**55.5%**でした。この結果から、宇智小の半分以上の子どもたちは、毎日30分以上は読書をしていることがうかがえます。これは、6年生を対象としたアンケートでしたが、小さい学年の頃からの積み重ねがこの結果につながっているのではないかと考えています。

読書の楽しさを知っておくことは、子どもたちの将来にとっても財産になるのではないのでしょうか。秋の夜長、ご家族でぜひ読書の楽しさを味わってみたいと思います。

笑顔いっぱい集会



10月30日(火)、民生委員や地域の高齢者、祖父母の方々に来ていただき、子どもたちの普段の学習の様子を見ていただく「笑顔いっぱい集会」を行いました。当日は多くの方々にお越しいただき、各学年から、詩の群読やふるさと学習の発表、金管クラブの演奏による全員合唱等を行いました。また、肩たたきも行い、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

研究発表会を行いました!



10月25日(木)、本校において、学力向上に向けた取組の研究発表会を行いました。自分の考えを伝え、友達の意見を参考にしながら課題解決に向かう算数科の授業

(1・5年生)を市内外の先生方に公開しました。本校では、全校挙げて、見通しと自分の考えをしっかりと持てるような授業づくりを目指しています。「自ら考え、いきいきと伝え合う」児童の育成を目指し、これからも教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

五條市小中学校連携事例交流会

11月10日(土)13:30から五條市市民会館において、教職員による小中学校連携の取組についての発表会が行われます。五條東中学校区の取組も発表されますので、よろしければ足をお運びください。また、今後、阿太小学校との交流も予定しています。具体的な交流内容が決まりましたら、あらためて学年通信等でお知らせします。



お知らせ

マラソン大会の予定について



11月30日(金)にマラソン大会を実施いたします[予備日12月7日(木)]。今年度も、五條小学校と合同で行います。いつも一緒に練習をしている宇智小学校の仲間だけではなく、五條小学校の児童とも走ることで意欲を高め、自己の記録を更に高めてほしいと願っています。競技時間等の詳細については、後日お知らせさせていただきますので、宜しくお願いします。

--	--